

## 事業実施報告書

事業名 特定非営利活動法人ヒールアップハウス

### 1 事業の目的

障害の有無、国籍の違い、年齢、男女、属性関係なく、地域でお互い様の気持ちで支え合う地域づくり

### 2 事業内容

#### (1) 事業の概要

働く元気食堂～一人じゃないよ、お互い様から始まる共成の輪～

### 晴れ晴れ

障害福祉サービス事業  
(団地の一角に建つ事業所)



### 芝園団地

住民の6割 多国籍住民  
住民の4割 高齢者

芝園団地は、約5000人の居住のうち、60%が多国籍住民、残りの40%が高齢者の団地である。その団地の中にある晴れ晴れの場所を活用して、高齢者障害者が働き、カフェと子ども食堂を開催し、共に食を通じた元気食堂を開催し、お互いに支え合う地域づくりを目指します。

(2) 事業の流れ

子ども食堂

実施日	子ども	大人	障害者
2023/6/17	5	9	0
2023/7/21	0	5	0
2023/8/25	0	4	4
2023/9/22	5	13	4
2023/10/27	8	11	3
2023/11/24	2	12	2
2023/12/22	10	12	2
2024/1/26	10	12	2
2024/2/16	12	9	4



イベント

ヨガ教室 参加者各 10 名  
2023/8/30、2023/11/22



子ども広場  
参加者  
子ども 6 名 大人 4 名  
2023/11/25

クリスマス会  
2023/12/22 子ども 10 名





ふるまい餅  
35食おしるこ  
95食餅ふるまい  
2024/1/13



落語 寄席  
参加者 18名  
2024/2/23



川口市における  
外国人の現状に  
ついての研修会  
参加者 21名  
2023/12/2



### 料理教室

2023年9月13日 参加者5名 講師 三浦香代子  
2023年10月13日 参加者5名 講師 三浦香代子  
2023年11月10日 参加者5名 講師 三浦香代子  
2023年12月18日 参加者5名 講師 三浦香代子



### カフェ

2023年6月17日 カフェ  
2023年7月22日 カフェ  
2023年8月26日 カフェ  
2023年9月23日 カフェ  
2023年10月28日 カフェ  
2023年11月25日 カフェ  
2023年12月23日 カフェ  
2024年1月27日 カフェ  
2024年2月23日 カフェ



### (3) 連携・協力機関

- ・ひまつぶし（芝園団地高齢者の支援団体）
- ・芝園かけはしプロジェクト（芝園団地多文化共生に向けての取組団体）
- ・NPO 法人こどもの居場所づくり in かわぐち
- ・フードパントリー
- ・ココシバ（芝地区カフェ）
- ・UR 都市機構 UR コミュニティ
- ・川口芝園郵便局
- ・川口市市民生活部協働推進課

### 3 成果及び今後の展開

- ・子ども食堂では、子どもより高齢者の数が増えたが、子ども、親子、高齢者、障害者が集い、孤食対策につながった。
- ・子ども食堂を開催することにより、食文化の違いを知り、また多国籍の方たちの現状がわからないままでは会話にもつながらないのではないかと考え、川口市における外国人の現状についての研修会を開催することができた。研修を開催しながら、「知ること」でよりつながる人たちを増やすことができるのではないかと感じた。
- ・カフェの開催のための料理教室で調理を担当する高齢者の方のレパトリーが増え、お孫さんなどの家族に喜んでもらえたとの感想が聞かれ、働く側の大きな収穫を得ました。
- ・カフェでは、高齢者のスタッフ、芝園かけはしプロジェクトの学生さん（留学生含む）が参加し、年齢を超えたかかわりが見られた。できることをできる人がやるという仕組みが自然にできた。
- ・イベントでは、国籍、年齢、障害の有無などを超え、交わり、楽しむ姿が多くみられ、属性に捕らわれない関係づくり、地域のつながりの一役を担うことができた。
- ・事業の開催により、多くの関係機関からの協力を得ることができ、つながることができた。「食」をきっかけとした事業で、多くの課題の発見につながることができたことは大きな成果物と考える。

### 課題

多文化と共に、高齢者の方の生活についても気づきが多かった。

#### ① 高齢者の食生活

一人暮らしや夫婦での生活では、お惣菜売り場やお弁当屋での調達が多いことを知る。持病への対応遅れやお惣菜が飽きたなどの不満もあり、カフェではたくさん的高齢者の方が来られたが、栄養面での改善が必要ではないかと考えられた。

お惣菜を頼る理由) 作って無駄になることが多い、自分の料理のレパトリーに飽きた、誰かに食べてもらえるわけではないから作ることが楽しくないなどがあつた。

#### ② 高齢者の方の在宅

カフェでの食事提供やふるまい餅、クリスマス会など、持帰ってもいいですか？近所のおばあちゃんに渡したいからという声も聞かれた。事業所まで来られない方へ近所の支援があることを知りました。おすそ分けのような関係づくりができるとなおいいのではないかと感じました。